

まち活「ナゴヤWalkingクラブ」

④金山と東海道ウォーキングコース

金山駅～熱田神宮～伝馬町駅約5,5km 70分



金山駅を南下寺社や古墳群を巡り熱田の宿、熱田神宮、(東海道)宮の渡しを歩きます。

金山駅～観聴寺～金山神社～畑中地蔵～高蔵遺跡～高座結御子神社
～夜寒里跡碑～断夫山古墳～白鳥古墳～熱田神宮～宮の渡し公園～地下鉄・伝馬町駅

観聴寺



寺には戦火をくぐりぬけた二躯の鉄地蔵菩薩立像があり。これは断夫山古墳の地蔵堂に安置されていたものが観聴寺に移されたものです

金山神社



熱田神宮修理職の鍛冶尾崎彦四郎の祖先が屋敷内に勧請したのが始まりで、「尾張鍛冶発祥の地」と言われます。熱田区金山町1丁目にある神社。周辺の地名である「金山」は当社に由来する

畑中地蔵



この付近の畑を耕していた百姓が掘り出したものをまつたもので毎月24日の地蔵菩薩の命日にはお経を唱え地蔵菩薩の徳を称えています

高蔵遺跡



明治40年に発見され、南北700m、東西500mの範囲に弥生時代の遺構が見つかり明治41年には二点の丹塗り壺と馬の前肢骨が見つっています

高座結御子神社



熱田神宮と同時期に鎮座したといわれる古社、人々からは「高蔵さん」と呼ばれて子育ての神として親しまれております

夜寒里跡碑



旗屋小学校の前に夜寒里跡の碑があります。かつては年(あゆちがた)という干潟が広がる海を見渡せる高台で、この歌碑は歌人磯部芦丸(うすべのあし丸)建てたのを移したものです

断夫山古墳



全長150m余りに及ぶ東海地方最大の前方後円墳です。築造年代は6世紀初頭と推定されています

白鳥古墳



6世紀初頭に築造されたと考えられ、全長は70mにも及んだと言いますが、道路の拡張より墳墓はかなり小さくなってしまいました。

熱田神宮



「熱田の杜」と呼ばれる昔ながらの社叢が広がり、荘厳な雰囲気に含まれます。熱田神宮は、三種の神器の一つである草薙の剣(熱田大神)を祭神とします

宮の渡し



東海道熱田宿は品川から41番目の宿場町で、熱田神宮の門前町ということから宮宿と呼ばれました。佐屋、美濃路の分岐点で、ここから先は七里の渡しで桑名へと渡りました